

げんき
とにかく元気

2024/5/7

No.10

岩渕和信

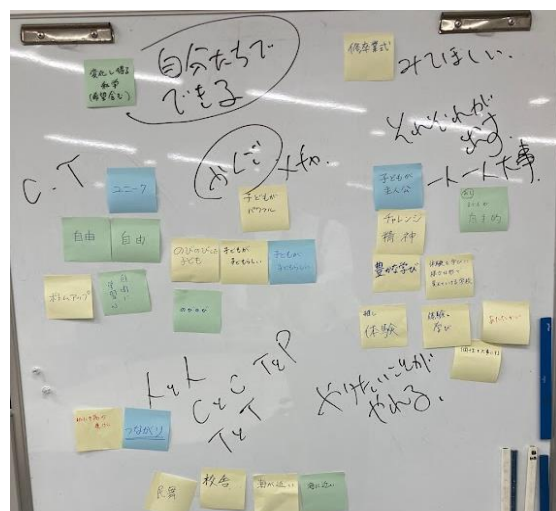
はるやす 春休みのことでした。はじ あ せんせいがた
の学校の「推し」をおしを教えてくださいました。

『自由』って書いてくださった方が5人。

「子どもも先生も自由なんです。子どもたちも自由
に発言ができたりとか、澆刺^{はつらつ}としている。先生たち
もみんなで自由に相談しながら決めていくってい
う学校です」「教育^{きょういく}づくりを自由にやってきた。
自分たちで作ってきたという自由があります」

『子どもが子どもらしい』『のびのび』『パワフル』
といった言葉^{ことば}が5人。

「初めて会うとびっくりすると思うんですけど、あ
の、素直^{すなお}で、めっちゃ元気で、ちょっと覚悟^{かくご}してお
いてくれたほうがいいかなと思います。めっちゃパワ
フルです」



先生方みんな笑^{わら}ってます。覚悟^{かくご}しておきます。

『子どもが主人公』『子どもが自主的』『チャレンジ精神』『豊かな
学び』『体験^{たいけん}と学び』といった言葉^{ことば}も多い。

「やりたいことがやれる。子どもも教員^{きょういん}もですけど、これやって
みようかなっていうことを相談してできる」

他^{ほか}には『幼小中^{ようしょうちゅうこう}高^{こう}の連携^{れんけい}』『つながり』『校舎^{こうしゃ}』『海^{うみ}が近い』『民舞^{みんぶ}』『修^{しゅう}卒業式^{そつぎょうしき}』などの
「推し」を紹介^{しょうかい}していただきました。

そして4月8日の朝、小ホールで、自由に、思い思いに歌^{うた}っている奇跡^{きせき}の子どもたちと
出会^{であ}ったのです。

できない理由を考えるのではなく、どうしたらできるか考えて、
できることはなんでもチャレンジしたんです。 (高田明)